

第64回全国国立大学法人病院検査部会議要旨

期日：平成29年6月22日（木）～23日（金）

会場：ホテルクレメント徳島（徳島県徳島市寺島本町西1-61）

当番校：徳島大学

出席者：各大学の検査部長および技師長等 84名

I 1日目 平成29年6月22日（木）

18:00～20:00 ホテルクレメント徳島 3階「金扇」

検査部会議懇親会

II 2日目 平成29年6月23日（金）

9:00～15:00 ホテルクレメント徳島 4階「クレメントホール」

1. 開会 9:00～9:15

司会の徳島大学病院 井内 伸総務課長による開会宣言の後、当番校である徳島大学病院 丹黒 章 医学部長および土井俊夫 検査部長より挨拶があった。続いて、慣例により議長に当番校の土井検査部長を提案し、承認され議事に入った。まず、議長から文部科学省の陪席者の紹介が行われ、さらに平成29年度の新任の検査部長4名、技師長15名の紹介があった。

2. 第一部 特別講演 9:15～10:10

矢富 裕 東京大学医学部附属病院検査部長を座長とし、文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室 西尾和幸 病院第一係長から「大学病院を取り巻く諸課題について」と題し、①高等教育行政の課題、②国立大学及び附属病院予算、③多様なニーズに対応できる医療人の養成、④大学病院の管理運営体制の強化、⑤医療を取り巻く変化に伴う今後の課題、⑥個人情報（患者情報）保護関連について等の講演が行われた。

質疑では、専門医の取得は義務付けではないという指針に変更された、ISO15189の国際認証加算を含めて検査室の品質・精度の法令面での規定に関しては今後の検討会で議論されていくのではないかとと思われる、今後精度管理に重点を置いていくことで診療報酬の加算等に繋がっていくのではないかとと思われる等の回答があった。

3. 第二部 シンポジウム 10:20～12:10

土井俊夫 徳島大学病院検査部長を座長とし、「現在の国立大学検査部が抱えている課題」をテーマに各大学から発表があった。

①診療科長による検査部運営—大分大学の紹介—

大分大学医学部附属病院 高橋尚彦 検査部長

②臨床検査医学講座としての課題

群馬大学医学部附属病院 村上正巳 検査部長

③検査部と企業の一体運営について

筑波大学附属病院 川上 康 検査部長

④検査部のマネジメント～技師長の経験からみた運営と課題～

岡山大学病院 岡田 健 技師長

①臨床検査専門医の研修の受け入れや教育についての質疑応答が行われた。

②臨床検査専門医のカリキュラムやキャリアパスについて質疑応答が行われた。

③検体を企業に譲渡する際の価格や倫理面について質疑応答が行われた。

④ISO15189 の維持費用、文書管理費用について質疑応答が行われた。

4. 昼 食 : 12:00～13:00 ホテルクレメント徳島 4階「クレメントホール」

幹事会 : 12:00～13:00 ホテルクレメント徳島 3階「薫風・清風」

5. 第三部 13:00～15:00

議事（Ⅰ）会務報告

土井俊夫 徳島大学病院検査部長の司会、矢富 裕 東京大学医学部附属病院検査部長、萩原三千男 東京医科歯科大学医学部附属病院技師長、曾根伸治 東京大学医学部附属病院技師長の進行により、会務報告、幹事会報告、実態調査進捗報告、感謝状（楯）贈呈等が行われた。次々期当番校には、金沢大学が承認された。

議事（Ⅱ）

土井俊夫 徳島大学病院検査部長、中尾隆之 徳島大学病院技師長の座長により以下の講演が行われた。

①「検査部における災害対策－日常24時間検査体制の強化－」

熊本保健科学大学保健科学部 池田 勝義 教授

熊本大学病院の震災時の状況、地震災害時に備えて整理しておくべき事項、地震災害時に対応した検査体制、地域連携、全国連携、企業連携等について講演された。

②「国立大学における災害対策について」

徳島大学病院救急集中治療部 西村 匡司 教授

東日本大震災時の徳島大学病院の活動、災害時の地域連携、徳島大学病院の震災対策等について講演された。

6. 閉会 15:00